



The Supporters Times

サポーターズタイムズ 1月・2月 合併号

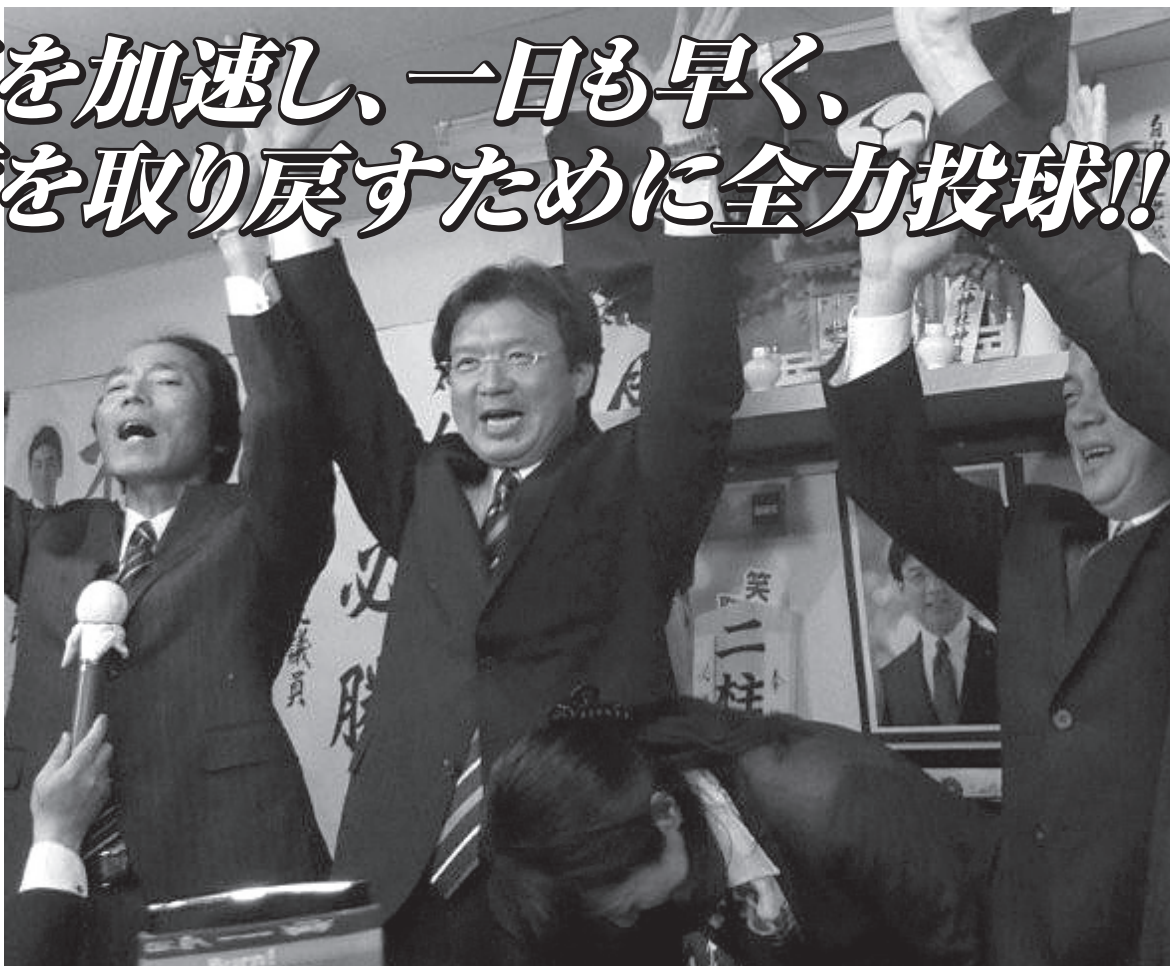


私たち、社が、働け
秋葉党

衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

復興を加速し、一日も早く、 笑顔を取り戻すために全力投球!!

厚生労働副大臣および
復興副大臣に就任



昨年の総選挙では6人の乱立の中、76,595票を頂戴し、激戦を制して4度目の当選を果たすことができました。これもひとえに後援会をはじめ皆様の心温まるご支援のおかげであり、改めて衷心より厚く御礼と感謝申し上げます。

年末の第二次安倍政権の発足に伴い、厚生労働副大臣ならびに復興副大臣を拝命いたしました。厚生労働行政は、私が主に担当する医療、介護、子育て支援に加えて、年金、福祉、労働・雇用と非常に幅が広く、かつ、国民ひとりひとりが安心して生活していく上で不可欠な分野です。とりわけ国民皆保険や皆年金に象徴されるように、世界に誇ることでできる社会保障制度を今後ともしっかりと堅持し、持続していくことが必要です。また、被災地の医療・介護の提供体制の再建や食品の安全確保など、復興においても重要な役割を担っています。

一方、未だ復興の槌音が聞こえない現状を改めて、目に見えるものとし、新たな東北の創造に向けてスピードアップしなければなりません。復興予算のフレームを見直し、予算確保に関する不安を払しょくするとともに、流用等の批判を招くことがないよう用途の厳格化を指示いたしました。住宅再建やまちづくり等について、具体的な工程と目標を明示して、加速策を具体化して参ります。その際、各種制度などへの批判や要望に真摯に耳を傾け、柔軟な対応をしていきたいと考えています。

私の最大の使命は、一日も早く被災地に笑顔を取り戻すことだと決意を新たに致しております。全力投球で体当たりして参ります。

厚生労働副大臣
復興副大臣

秋葉賢也

2012年総選挙を振り返って

11月29日

総決起大会開催



村井嘉浩
宮城県知事も
応援



応援弁士
三原じゅん子
参議院議員



応援弁士
丸山和也
参議院議員

12月1日

事務所開き



応援にかけつけた
奥山恵美子仙台市長



12月4日

第46回衆議院総選挙 スタート!



英国紙
「ファイナンシャルタイムズ」
12月5日の1面より抜粋

Memo to all bosses:
promote the young
Luke Johnson, Page 10



小泉進次郎
党青年局長も
熱弁



Japan election Abe on the campaign trail

my
rakes
iking
plan

石破茂幹事長も
秋葉候補のために
来仙



街頭演説 秋葉けんや候補

12月16日

衆議院選挙投開票日



皆様のおかげです。
本当にありがとうございました!



河北新報 2012年12月27日

秋葉氏は東日本大震災の津波被害が甚大だった仙台市宮城野、若林区などが地盤。谷氏は兵庫県防災局長、政策室長を務め、阪神大震災の復興に当たった。

第2次安倍内閣の人事で、政府は秋葉賢也氏衆院宮城2区を厚生労働復興兼務の副大臣に充てる方針を固めた。復興副大臣には谷公一氏(衆院兵庫5区)も起用するとみられる。

厚労・復興副大臣
秋葉氏を起用へ

安倍内閣は27日の臨時閣議で、副大臣25人、政務官27人の人事を決めた。財務副大臣に自民党一元環境相を起用。安倍晋三首相が実績と経験などを考慮して人選した。東日本大震災の復興を

担う復興副大臣には谷公一、寺田稔、秋葉賢也各衆院議員と公明党の浜田昌良参院議員を登用。東

第二次安倍内閣発足 復興副大臣秋葉氏ら4氏

の小淵優子元少子化担当相、外務副大臣に鈴木俊

京電力福島第1原発事故の対応などを所管する環境副大臣には自民党の田中和徳、井上信治両衆院議員が就いた。寺田、井上両氏は内閣府副大臣、秋葉氏は厚生労働副大臣を兼ねる。

河北新報
2012年12月28日

議員が就いた。寺田、井上両氏は内閣府副大臣、秋葉氏は厚生労働副大臣を兼ねる。



現地現場の声を基本に復興・復興のスピードアップ!

復興のスピードアップ
まずは予算から着手



「現場主義で早期復興」 復興相、気仙沼と南三陸視察

根本匠復興相は14日、視察先の気仙沼市と南三陸町で首長らと面会し「現場主義で早期復興を成し遂げる」と述べた。

気仙沼市では菅原茂市長らと意見交換。「復興庁が司令塔機能を発揮し、縦割りの弊害を打破したい」と強調し、住宅再建への財政支援や仮設住宅の入居期間の延長など30項目の要望書を受け取った。

南三陸町では震災で施設が全壊し、厳しい経営状況が続く公立志津

川病院の早期復旧に向けた財政支援などを佐藤仁町長が求めた。根本氏は志津川漁港も訪れ、昨年10月に完成したカキ処理場を視察した。

視察終了後、志津川病院の再建に関連し記者団の取材に「既存の枠組みで再建できるか、新たな財政支援が必要か十分検討したい」と語った。震災遺構の保存についても「地域の合意形成があれば（国の財政措置などについて）考えていきたい」と述べた。

河北新報 1月15日

被災地の声を政策に反映

安倍総理とともに被災した宮城県内を視察



首相、就任後初の宮城入り

被災地の要望予算に反映

河北新報 1月13日



村井宮城県知事や奥山仙台市長から、予算・制度に関するご要望を伺いました。

林農水産大臣とともに県内の被災農地を視察



宮城復興局で村井知事らと話し合う根本復興相

「地区ごと」に工程表 復興相 宮城・岩手で意見交換

河北新報 1月22日

根本匠復興相は21日、盛岡、仙台両市を訪れ、東日本大震災の被災地で進む土地画整理事業や集団移転事業について、着地の造成時期や住宅の戸数、入居可能時期など工程表を地区ごとに作成し、近く公表する考えを明らかにした。報道各社の取材に答えた。

根本氏は「具体的な事業がいつまで、どの程度できるのかしっかり提示できる。近々公表したい」と語った。工程表には宅地の造成期間、災害公営住宅や民間で再建する住宅の戸数、被災地対応を強化する姿勢を示した。

根本氏は同日午前、盛岡市の岩手復興局で増田知事や被災12市町村長らと会談。午後仙台市の宮城復興局で村井嘉浩知事、被災15市町の首長らと意見交換した。



被災地視察で宮城県入りし、村井知事と会談した林農水相(中央)＝宮城県庁

同日夕に予定されていた佐藤雄平福島知事との会談は、佐藤知事の体調不良で急ぎよ中止となった。

林氏はこの後、仙台市若林区の市農業園芸センターと宮城県山元町でイチゴなどを栽培する大型生産施設、相馬市の観光イチゴ組合を視察した。

村井知事は、福島第一原発事故で風評被害などの影響を受けた生産者への支援や漁港整備の加速、自治体の技術職員の確保を要請した。

東北の農業再生に全力 農相、宮城と福島を視察

河北新報 1月14日

林芳正農水相は13日、宮城、福島両県を訪れ、東日本大震災で被災した農地や農業施設を視察した。宮城県庁で村井嘉浩知事と会談した林氏は、「東北は1次産業の全国的な重要拠点だ。復興を加速させることに重点を置く」と述べ、農業再生に全力を挙げる考えを示した。

村井知事との会談冒頭、林氏は「震災発生からかなりの時間がたった。単なる復旧にとどまらず、将来を見据えた復興を目指す。しっかりと取り組みたい」と述べた。

村井知事は、福島第一原発事故で風評被害などの影響を受けた生産者への支援や漁港整備の加速、自治体の技術職員の確保を要請した。

【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

厚生労働副大臣 兼 復興副大臣 秋葉 賢也

サポーターズの集い 2013



日時 平成25年 **3月27日(水)** 午後6時スタート (開場 午後5時30分)

会場 パレスへいあん TEL 022-265-5111

ゲスト 石破 茂 自民党幹事長 **会費** 10,000円

お申込みは、秋葉賢也仙台事務所までFAXをお送りください FAX 022-375-0057



タウンミーティング(国政報告会)

秋葉厚生労働兼復興副大臣と意見を交換してみなさんの声でより良い政治を創りませんか。

- 2月16日(土) 若林区 19時 @若林市民センター
- 2月22日(金) 宮城野区 19時 @福室市民センター
- 3月1日(金) 泉区 19時 @黒松市民センター

現地現場主義

秋葉厚生労働副大臣 ~新年のご挨拶~

1月7日、厚生労働省講堂において、職員の皆様へ、年頭のご挨拶を申し上げました。



省庁・被災地連携強化 医療再構築も支援

第2次安倍内閣で、厚生労働と復興兼務の副大臣に秋葉賢也氏(衆院宮城2区)が起用された。東日本大震災からの復興加速は最重要課題。秋葉氏に被災地の暮らし再建に向けた抱負や、今後の政策方針などを語ってもらった。

被災地の実情に、さまざまな制度を合わせていく発想が欠かれない。民主党政権は現状ルールのまま復旧・復興を進めようとしたのでスピード感がなかった。いわば既製服でなく、オーダーメイドへの政策転換が重要だ。自治体間の格差を埋めることにもつながる。震災関連の法案づくりは、野党時代から自民党がリードしてきた自負がある。厚労、復興の兼務は重い。社会保障制度の堅持に責だが、霞が関に軸足を置

第2次安倍内閣 厚労・復興副大臣

秋葉 賢也氏に聞く



ダメージへの政策転換が重要な。自治体間の格差を埋めることにもつながる。震災関連の法案づくりは、野党時代から自民党がリードしてきた自負がある。厚労、復興の兼務は重い。社会保障制度の堅持に責だが、霞が関に軸足を置

も含めた医療体制の再構築を支援する。 応急仮設住宅について、必要に応じた柔軟な期限の延長は当然のこと。仙台市は公営や民間の住宅を活用した「みなし仮設」が約9割を占めており、心のケアなどフォローアップを充実させる。 震災直後から被災地の声を受け止めてきた。政権に返り咲いた今、どんどん復興を前に動かす。一日も早く被災者に笑顔を取り戻すのが、大きな使命だと思っている。 河北新報 1月21日

田村厚生労働大臣とともに県内を視察



1月17日、田村厚生労働大臣とともに宮城県入りした秋葉厚生労働副大臣は宮城県庁を訪れ、村井嘉浩知事より、医療分野の復興施策に関わること要望を伺いました。



東北大学及び3師会役員の皆様と意見交換

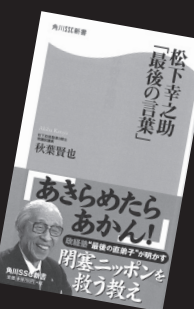


仮設住宅で、医療・介護等に関するご要望を伺いました。

多くの皆様にご購読いただき心より感謝申し上げます。全国の主要書店やアマゾン等のインターネットでもお求めいただけます。

『松下幸之助 最後の言葉』

秋葉賢也著(角川SSC新書)定価760円



週刊社会保障 No.2710より抜粋

△秋葉賢也(あきば けんや) 厚生労働副大臣経歴▽

昭和62年 昭和大法 中央大学 法学部卒。宮城県議会議員等を経て、平成17年衆院議員に初当選。総務大臣政務官、自民党副幹事長、同政務調査会厚生労働部会長代理、同厚生関係団体委員会委員長、同副幹事長等を歴任。衆院宮城2区・当選4回。宮城県出身の50歳。

秋葉賢也事務所
www.akiba21.net

仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

購読料 年額6,000円
編集 株式会社アクトジャパン

※ お願い 本紙「サポーターズタイムズ」を是非ご購読ください ⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!!